

平成30年7月6日

平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要（速報版第3報）について

旭川開発建設部では、平成30年7月2日からの大雨に伴う石狩川水系石狩川の出水概要について、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

今般、旭川開発建設部管内では、停滞する前線の影響により、流域内各地で激しい降雨がありました。

このため、当部が管理する河川では、石狩川水系石狩川の伊納観測所（旭川市）で「氾濫危険水位」（レベル4）を超える出水となりました。

しかしながら、当部でこれまで進めてきた河川整備や洪水調節施設により、出水時の水位低下が図られ、さらに、TEC-FORCEを速やかに派遣し、排水作業を行ったことにより、内水氾濫被害の軽減を図ることが出来ました。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

治水課 課長 横田 尚之（電話番号 0166-32-4234）

流域計画官 高橋 賢司（電話番号 0166-32-1119）

旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_as



平成30年7月2日からの 大雨による出水概要 (石狩川上流)

【速報版第3報】

国土交通省 北海道開発局
旭川開発建設部
平成30年7月6日



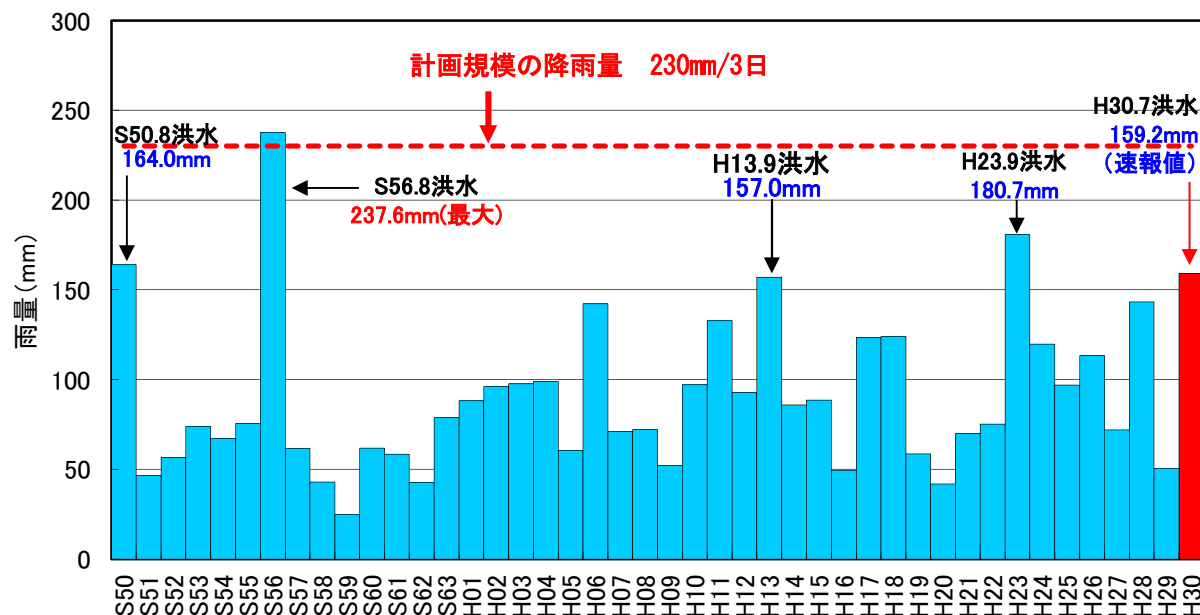
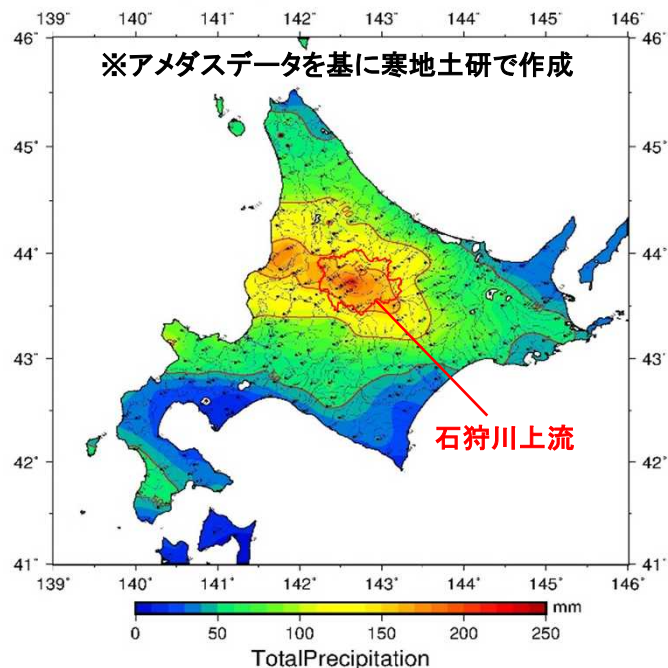
平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(石狩川上流)

7月2日の深夜から3日にかけて、前線の活動により、上川・空知・留萌管内を中心に大雨となり、石狩川の上流部にも豪雨がもたらされ、**旭川市(気象台)**で144mm、**伊納雨量観測所(国交省)**で164mmを観測しました。この大雨により、旭川市神居古潭付近で一部浸水等の被害が発生しました。

旭川開発建設部では、**大雪ダム**、**忠別ダム**で防災操作を行った他(継続中)、**永山新川**により、**牛朱別川**の洪水流量を低減しました。

さらに、TEC-FORCEを速やかに派遣し、排水作業を行ったことにより、内水氾濫被害の軽減を図ることが出来ました。

72h total precipitation at 201807040800



石狩川上流(伊納)における年最大流域平均3日雨量

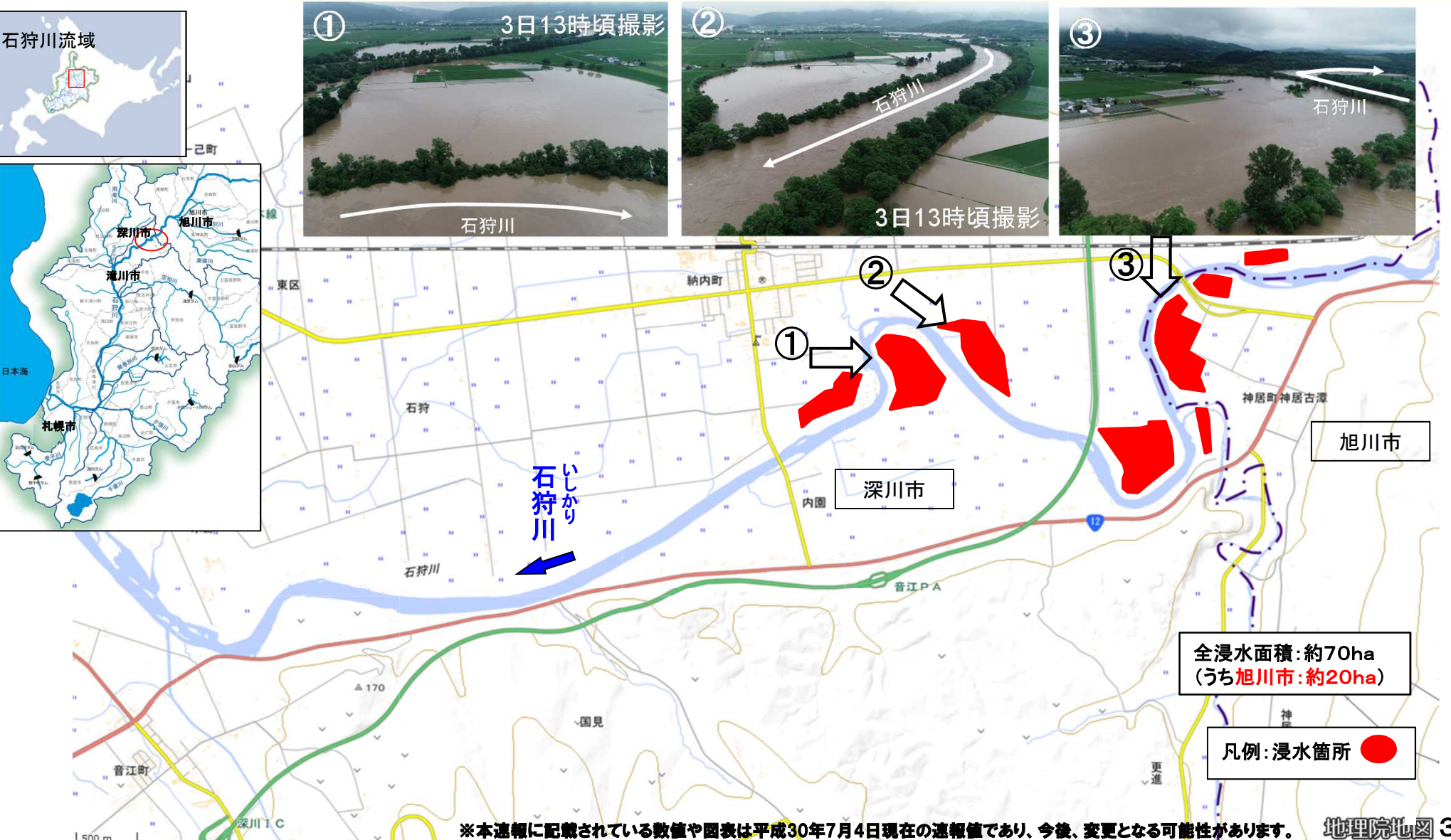
旭川市 伊納大橋地点の出水状況



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成30年7月2日からの大雨による出水の概要 おさむない かむいこたん (納内・神居古潭の外水はん濫被害状況)

○石狩川本川の深川市納内町付近および旭川市神居町神居古潭において、**約70haの浸水と家屋4戸**(深川市3戸、旭川市1戸)の浸水被害が発生しました。(開発局調べ)



平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(石狩川上流 内水はん濫被害状況)

平成30年7月2日からの大雨により、各地で内水被害が発生し、石狩川上流域では**約6.1ha**の浸水が確認されています。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。 4

旭川開発建設部の取組（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

平成30年7月2日から大雨による出水を受け、速やかに**TEC-FORCE**を派遣し、内水被害箇所へ**排水ポンプ車**（3台）、**ユニットポンプ**を準備し、**内水排除を実施**しました。また、上川振興局、東川町へ延べ6人日の**リエゾン派遣**を実施し、情報収集、関係機関の迅速な連携・支援に努めました。



神居第4樋門（旭川市排水状況）



北野10線排水樋門（排水作業）



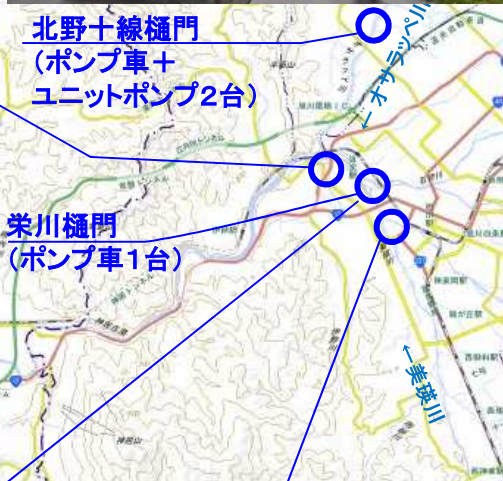
第2新星樋門（内水被害状況）



第2新星樋門（排水状況）



栄川樋門（排水状況）



北野10線樋門
（ポンプ車＋
ユニットポンプ2台）

栄川樋門
（ポンプ車1台）

第2新星樋門
（ポンプ車1台＋旭川市ユニットポンプ）

排水ポンプ車稼働状況

北野10線樋門	26,400 t
第2新星樋門	15,600 t
栄川樋門	37,200 t
美瑛第2樋門	精査中



美瑛第2排水樋門（排水作業）



神居第3樋門（旭川市排水作業）



参宮樋門（排水作業）

美瑛第2排水樋門
（ユニットポンプ1台）



美瑛第2排水樋門（排水作業）

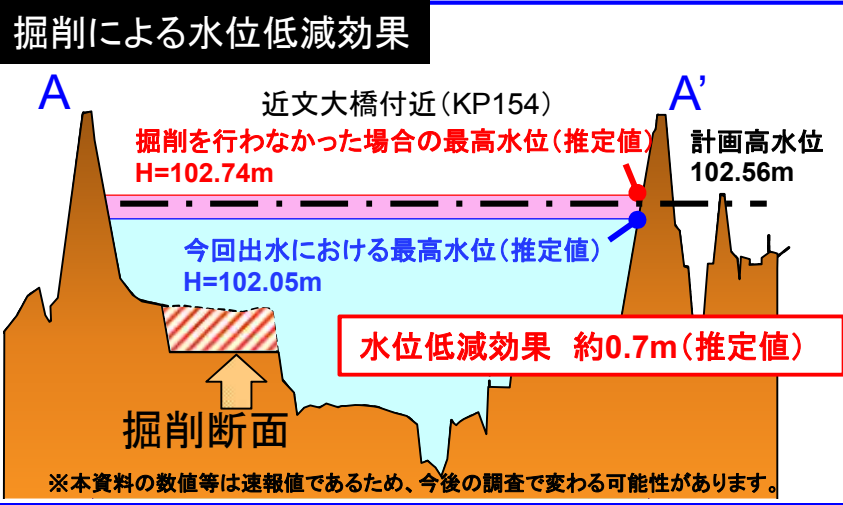
※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

治水事業の効果① 河道掘削が効果を発揮(北海道 石狩川 近文大橋地点)(国管理)

ちかぶみおおし

○石狩川上流忠和地区では、旭川市街地における洪水被害の防止・軽減を目的に河道掘削を順次進めています。

○平成30年7月2日からの大雨による洪水では、河道掘削により、石狩川(近文大橋地点)で約0.7mの水位低減効果があったと想定されます。河道掘削を実施しなければ、計画高水位を超過し、堤防が決壊するおそれがありました。もし堤防が決壊した場合は約200ha、4,400戸が浸水したと想定されます。

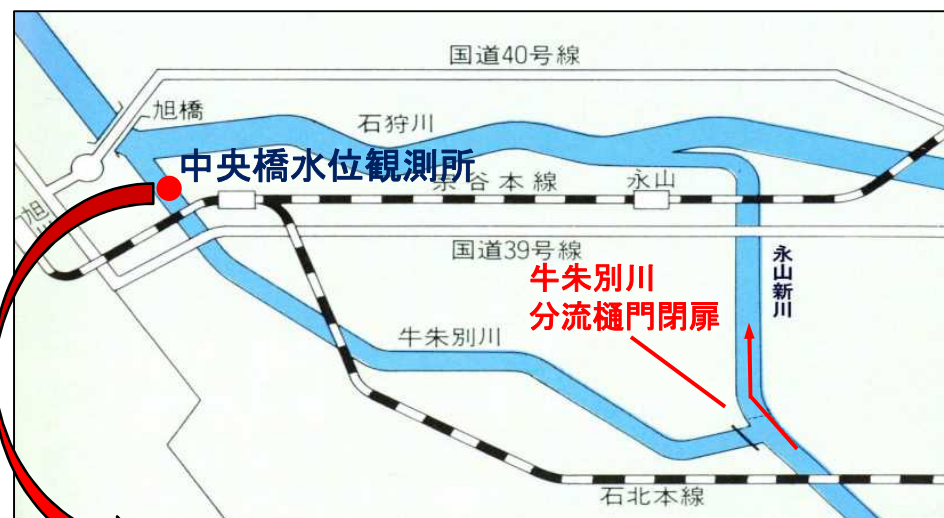


治水事業の効果② 分水路整備が効果を発揮(北海道 牛朱別川分水路(永山新川) (国管理) うしゅべつかわぶんすい)

牛朱別川分水路(永山新川)は、下流市街地の洪水被害軽減を目的に平成16年に完成しています。

平成30年7月2日からの大雨による洪水では、**牛朱別川分水路(永山新川)**が効果を発揮し、牛朱別川(中央橋)で**約1.1mの水位低減**効果があったと推測されます。仮に牛朱別川分水路(永山新川)が整備されていなければ、出動の目安となるはん濫注意水位を上回ったと推測されます。その場合は、牛朱別川の樋門閉扉による更なる内水被害が発生していたおそれがあります。

位置図



永山新川による水位低減効果

